

教育課程研修会

趣旨

学習指導要領の改訂の基本的な考え方である「社会に開かれた教育課程」を重視し、全教科等で育成する資質・能力を明確にしながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて**授業改善を進めていく**ために、講義や演習をとおして、**各学校の特色を生かした教育課程の編成・実施**に資する。

教育課程研修会

重点

総合的な学習の時間に焦点をあて、各学校における教育課程の編成・実施等を見つめ直す。

教育課程研修会

内容

講義：「はじめよう！総合的な学習の時間①」
～今、なぜ総合的な学習の時間なのか？～

演習：「はじめよう！総合的な学習の時間②」
～全体計画、単元計画等を見つめ直そう～

はじめよう！
総合的な学習の時間①

～今、なぜ総合的な学習の時間なのか？～

はじめよう！

総合的な学習の時間①

～今、なぜ総合的な学習の時間なのか？～

- ・ 総合的な学習の時間のよさ
- ・ これからの時代に学校に求められるもの
- ・ カリキュラム・マネジメントと総合的な学習の時間との関わり
- ・ 総合的な学習の時間の目標
- ・ 総合的な学習の時間で育成を目指す資質・能力
- ・ 総合的な学習の時間の授業づくりの視点

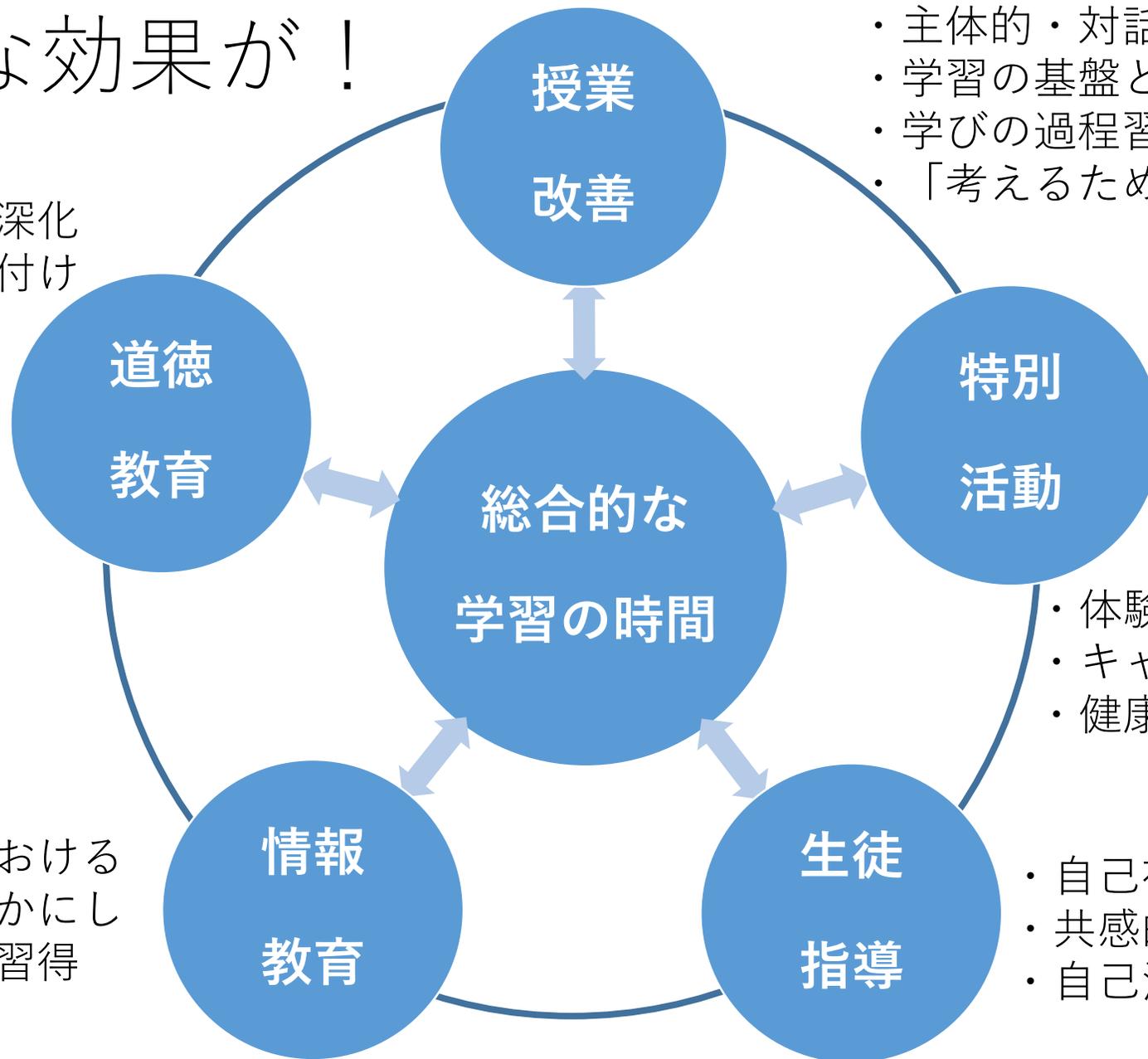
このような成果が！

- 知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力の育成の両方
- 各教科等における探究的な学習の根幹
- PISA調査（OECD）の好成績

このような効果が！

- ・ 道徳的価値の理解の深化
- ・ 自己の生き方と関連付け

- ・ 小・中・高等学校における各教科等の学習を豊かにしていくためのスキル習得



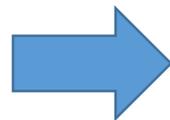
- ・ 主体的・対話的で深い学びが充実
- ・ 学習の基盤となる資質・能力の育成
- ・ 学びの過程習得
- ・ 「考えるための技法」の習得

- ・ 体験活動等の充実
- ・ キャリア教育の充実
- ・ 健康や安全、食育などの充実

- ・ 自己存在感の高揚
- ・ 共感的な人間関係の構築
- ・ 自己決定の場の増加

これからの時代

- ・ 生産年齢人口の減少
- ・ グローバル化の進展
- ・ 絶え間ない技術革新等



- ・ 社会構造や雇用環境の急速な変化



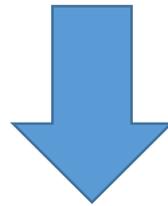
* [Society 5.0 - 科学技術政策 - 内閣府 \(cao.go.jp\)](https://www.cao.go.jp)



予測が困難な時代

これからの時代に学校に求められるもの

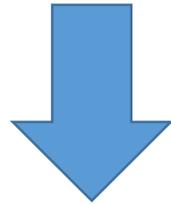
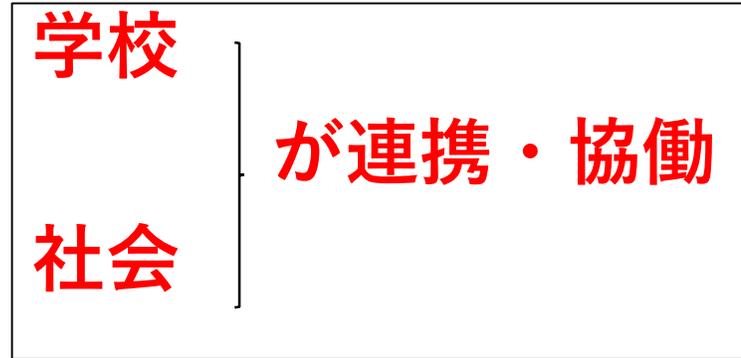
- ・ 子供たちが様々な**変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決**していくこと
- ・ 様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し**情報を再構成**するなどして**新しい価値につなげていく**こと
- ・ **複雑な状況変化の中で目的を再構成**すること (小・中：総則P1)



“よりよい**学校教育を通じてよりよい社会を創る**”という目標を**学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」**実現を目指す。

(小・中：総則P2)

これからの時代に学校に求められるもの



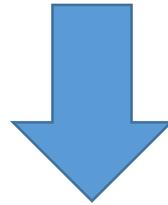
予測困難な**社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、**
どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいもの
にしていくのかという目的を自ら考え、自らの可能性を発揮し、より
よい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにする。

(小・中：総則P3)

これからの時代に学校に求められるもの

カリキュラム・マネジメントの推進

(教育活動の質を向上させ、学習効果の最大化を図る)

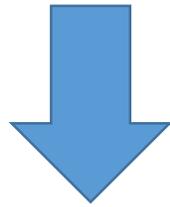


- ・ 児童（生徒）や学校、地域の実態を適切に把握し、**教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと**
- ・ 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・ 教育課程の実施に**必要な人的または物的な体制を確保**するとともにその改善を図っていくこと

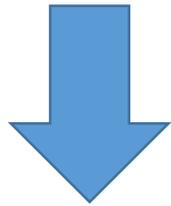
(小：総則P39、中：総則P40)

これからの時代に学校に求められるもの

中核となる教科：**総合的な学習の時間**



各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間の目標を設定しなければならない



総合的な学習の時間の目標は、学校の教育目標と**直接的につながるという独自な特質を有している**

カリキュラム・マネジメントと 総合的な学習の時間との関わり

教育課程の編成

教科等間のつながりを意識して教育課程を編成することが重要。

(小：総則P41、中：総則P42)



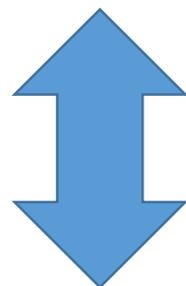
児童（生徒）や学校、地域の実態に応じて学校が創意を生かして
行う**総合的な学習の時間を適切に展開できるように配慮**する。

カリキュラム・マネジメントと 総合的な学習の時間との関わり

②各学校の教育目標と教育課程の編成

教育課程の編成に当たっては、各学校の教育目標を明確にし、基本的な方針を家庭や地域とも共有する。**その際、第5（4）章総合的な学習の時間の第2の1に基づき定められる目標との関連を図る。**

（小：総則P46、中：総則P47）



総合的な学習の時間の目標については、学校の教育目標との関連を図り、**児童（生徒）や学校、地域の実態に応じてふさわしい探究課題を設定することができるという総合的な学習の時間の特質が各学校の教育目標の実現に生かさせるようにしていくことが重要。**

（小：総則P47、中：総則P48）

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(小・中：総合P8)

総合的な学習の時間の目標

①探究的な見方・考え方とは

- ・各教科等における**見方・考え方を総合的**に働かせること
- ・総合的な学習の時間に**固有な見方・考え方**を働かせること

(小・中：総合P10)

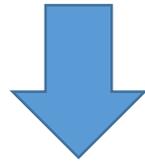
総合的な学習の時間の目標

①探究的な見方・考え方とは

各教科等における見方・考え方を総合的に働かせることとは

各教科等の特質に応じた見方・考え方を、**探究的な学習の過程において、適宜必要に応じて総合的に活用**すること

(小・中：総合P10)



扱う対象や解決しようとする方向性などに応じて、**児童（生徒）が意識的に活用できるようになることが大事**

(小・中：総合P10)

総合的な学習の時間の目標

①探究的な見方・考え方とは

各教科等における見方・考え方を総合的に働かせることは

例：単元名：「東部地区自慢！東部米の未来を考えよう」



(例) 算数・数学の見方・考え方

数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること。



- ・肥料A、Bを使用したときの単位面積あたりの収穫高と肥料A、Bを使用する単位面積あたりにかかる時間の二つのことを統合し仕事あたりの収穫高を考える

(例) 理科の見方・考え方

自然の事物・現象を、量的・関係的や共通性・多様性など科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いること。



- ・気温と生育状況（関係的な見方）
- ・東部米と共通性のある米は？（共通性の見方）

総合的な学習の時間の目標

①探究的な見方・考え方とは

総合的な学習の時間に固有な見方・考え方を働かせることとは

特定の教科等の視点だけで捉えきれない広範な事象を、**多様な角度から俯瞰して捉える**ことであり、また、課題の探究を通して**自己の生き方を問い続ける**という、**総合的な学習の時間に特有の物事を捉える視点や考え方**

(小・中：総合P10)



探究課題は、**一つの決まった正しい答えがあるわけではない**。様々な教科等で学んだ見方・考え方を総合的に活用しながら、様々な角度から捉え、(中略)考え、課題の解決により、また新たな課題を見付けるということを繰り返していく中で、自分の生き方も問い続けていくことになる。

(小・中：総合P10)

総合的な学習の時間の目標



①探究的な見方・考え方とは

総合的な学習の時間に固有な見方・考え方を働かせることとは

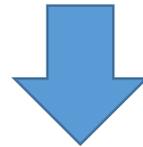
例：単元名：「東部地区自慢！東部米の未来を考えよう」

(例) 算数・数学の見方・考え方

数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること。

(例) 理科の見方・考え方

自然の事物・現象を、量的・関係的や共通性・多様性など科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いること。



この2つの視点だけでよいのか？

「地形的なこと」「流通のこと」「安全性」など他の視点が必要ではないか

総合的な学習の時間の目標

①探究的な見方・考え方とは

各教科等における見方・考え方を**総合的に活用**して、広範な事象を**多様な角度から俯瞰して捉え**、**実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける**という総合的な学習の時間の特質に応じた見方

(小・中：総合P10)



教科等の学習と教科等横断的な学習とが**往還**することが重要

総合的な学習の時間の目標

②横断的・総合的な学習とは

教科等の枠を越えて探究する価値のある課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら解決に向けて取り組んでいくこと。

(小・中：総合P10)

探究課題とは

各学校が目標を実現するにふさわしい課題。

(例) 現代的な諸課題に対応する課題：国際理解、情報、環境、福祉、健康など
地域や学校の特色に応じた課題：町づくり、伝統文化、地域経済、防災など
児童（生徒）の興味・関心に基づく課題：キャリア、ものづくり、生命など
(職業や自己の将来に関する課題：職業、勤労など)

(小：総合P11・P73～、中：総合P11・P69～)

総合的な学習の時間の目標

③よりよく課題を解決するとは

自らの知識や技能等を総合的に働かせて、目前の具体的な課題を粘り強く対処し解決しようとする事



試行錯誤しながらも新しい未知の課題に対応することが求められる時代において、欠かすことのできない資質・能力

(小・中：総合P12)

総合的な学習の時間の目標

④自己の生き方を考えていくとは

- ・ 人や社会、自然との関わりにおいて、**自らの生活や行動について考えていく**こと
 - * 低学年における生活科の学習の特質からつながってくる部分でもある。
 - 社会や自然の一員として、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えること。
- ・ 自分にとっての**学ぶことの意味や価値を考えていく**こと
 - 取り組んだ学習活動を通して、自分の考えや意見を深めることであり、また、学習の有用感を味わうなどして学ぶことの意味を自覚すること。
- ・ (上記二つを生かしながら) **学んだことを現在及び将来の自己の生き方につなげて考える**こと
 - 学習の成果から達成感や自信をもち、自分のよさや可能性に気付き、自分の人生や将来について考えていくこと。

(小・中：総合P12)

総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解**するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、**自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現**することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に**主体的・協働的に取り組む**とともに、互いのよさを生かしながら、**積極的に社会に参画しようとする態度**を養う。

総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

(1) 知識及び技能

探究的な学習の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能**を身に付け、**課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解**するようにする

総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

(2) 思考力、判断力、表現力等

実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする

総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

(2) 思考力、判断力、表現力等

実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

身に付けた「**知識及び技能**」を組み合わせ、適切に活用できるようになっていくこと



「**知識及び技能**」とは別に存在していたり、「**知識及び技能**」を抜きにして育成したりできるものではない。いかなる課題や状況に対しても、「**知識及び技能**」が自在に駆使できるものとなるようにすること



実社会や実生活の課題について**探究のプロセス**（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現）を通して、児童（生徒）が**実際に考え、判断し、表現すること**を通して身に付けていくことが大切
(小・中：総合P14・15)

総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

(3) 学びに向かう力、人間性等

探究的な学習に**主体的・協働的**に取り組むとともに、**互いのよさ**を生かしながら、積極的に**社会に参画**しようとする態度を養う

学びに向かう力、人間性等

よりよい生活や社会の創造に向けて、自他を尊重すること、自ら取り組んだり異なる他者と力を合わせたりすること、社会に寄与し貢献することなどの適正かつ好ましい態度として「知識及び技能」や「思考力、判断力、表現力等」を活用・発揮しようとする事

(小・中：総合P16・17)



自分自身に関すること、**他者**との関わりに関すること、**社会**との関わりに関すること

総合的な学習の時間の授業づくりの視点



①主体的な解決となる「課題の設定」

問題をよく吟味して児童生徒が自分で作り出せるようにしましょう

ポイント

- ・ 解決への意欲を高め、具体的な見通しをもてるものにする。
- ・ 体験活動を通して、課題を設定し課題意識を持たせる。
- ・ これまでの児童生徒の考えとの「ずれ」や「隔たり」、対象への「憧れ」や「可能性」を感じさせる。
- ・ 実社会や実生活に向き合わせ、児童生徒が自分で作り出せるようにする。

②解決につなげる「情報の収集」

自覚的な情報収集（目的を明確）となるようにしましょう

ポイント

- ・ 体験活動を通じた感覚的な情報の収集を大切にする。
- ・ 他者とのコミュニケーションを通して、情報の収集をさせる。
- ・ 後の探究的な学習活動が深められるように、収集した情報を適切な方法で蓄積させる。
- ・ より多く、より確かな情報が収集できるように、各教科等で身に付けた資質・能力を発揮させる。

③学習の深まりが実感できる「まとめ・表現」

児童生徒が自分の意見や考えを明らかにしたり、課題が更新したり、新たな課題を見いだしたりできるようにしましょう

ポイント

- ・ 児童生徒の既存の経験や知識と、学習活動により整理・分析して得た情報がつながるようにする。
- ・ 相手意識や目的意識を明確にして、まとめたり、表現したりさせる。
- ・ まとめたり、表現したりすることが、情報を再構成し、自分自身の考えや新たな課題を自覚することができるようにする。
- ・ 伝えるための具体的な方法を身に付けさせるとともに、それを目的に応じて選択して使えるようにする。

③思考を深める「整理・分析」

収集した情報を整理したり、分析したりして得た情報を活用した思考する活動を位置付けましょう

ポイント

- ・ 一旦収集した情報を整理する段階で吟味することの必要性を考えさせる。
- ・ 探究的な見方・考え方を働かせ、どのような方法で情報の整理や分析を行うのかを児童生徒に決定させる。
- ・ 整理・分析場面の学習活動の質を高めるために、「考えるための技法」を用いたり、得られた情報を「可視化」「操作化」したりして、自ら学びともに学ぶ主体的・対話的な学習につなげる。

総合的な学習の時間の授業づくりの視点

